

大阪府立労働センター 令和 7 年度運営状況及び事業報告

共同事業体 エル・プロジェクト（代表 大阪労働協会）



大阪府立労働センター

【令和7年度4月～11月収支実績】

- ▶ 営業活動の成果や特需的な利用もあり、収入が目標に対して約20万円増となっており、**収支差は目標（8か月分）を上回る。**

【令和7年度年間収支見込み】

- ▶ 収入（見込み）では、昨年度の実績に今年度の実績の上昇率を乗じて推計しており、現在の予約状況を踏まえても、最低でもこの値は達成可能な見込み。支出においては経費節減により目標を達成できる見込みであり、**収支差では目標を上回り、単年度黒字の見込み。**

〈参考：指定期間収支目標〉

- ▶ 「**指定期間5年間における総収支均衡**」、「**令和8年度からの単年度黒字化**」

()は公募提案時の金額 単位：千円

| | 年度 | R5(参考) | R6 | R7 (4月～11月) | R7 (見込み) | R8 | R9 | R10 |
|-----|----|---------|----------|-----------------------|-----------------------|-----------|-----------|-----------|
| 収入 | 目標 | 308,869 | 303,405 | 304,908 (314,843) | | (326,713) | (339,031) | (351,815) |
| | 実績 | 310,553 | 290,139 | 237,073 ^{※1} | 303,732 ^{※2} | — | — | — |
| 支出 | 目標 | 296,416 | 282,865 | 278,131 (288,066) | | (293,373) | (298,786) | (304,397) |
| | 実績 | 276,445 | 263,333 | 177,306 | 266,614 | — | — | — |
| 納付金 | | 26,530 | 32,260 | 33,456 | | 33,456 | 33,456 | 33,456 |
| 総支出 | — | 302,975 | 295,593 | 210,762 | 300,070 | 326,829 | 332,242 | 337,853 |
| 収支差 | 目標 | 12,453 | ▲ 11,720 | ▲ 6,679 | | (▲ 116) | (6,789) | (13,962) |
| | 実績 | 7,578 | ▲ 5,454 | 26,311 | 3,662 | — | — | — |

※1 大阪府施行の工事によるシアター閉鎖に伴う府の補填分含む ※2 R7年4月～10月の実績値+昨年度実績値(令和6年11月～3月)に利用料金収入上昇率を乗じた値

予約状況による利用料金収入見込（令和8年度）

- ▶ 予約状況による利用料金収入見込み（令和8年度）を、現在の予約状況から推計したところ、現状では目標を下回る見込み。
- ▶ すでに予約実績のある期間における利用料金収入見込みは、55,334千円（目標の3割程度）となっており、引き続き営業活動等を行い、利用料金収入の増収に努めていく。

単位：千円

| 項目 | 予約状況による 利用料金収入 | 備考 |
|--------------------------------------|-------------------|--|
| 目 標 | 191,716 | 273,880千円（令和8年度利用料金収入目標）× 70% 【目標設定の考え方】 過去の実績では、年度当初における、当該年度の予約状況が全体（通年）の7割程度を占めていることによる |
| 推計値 | 175,962 | 令和8年4月～9月までの予約状況による利用料金収入見込みから、今年度残り期間の上昇率をかけて推計したもの |
| 令和8年4月～9月 までの予約状況による 利用料金収入見込み | 55,334 | うち営業活動による予約獲得約7,848千円 |

▶ 各施設の稼働率は、会議室・プチエルともに昨年度と比較して増加の見込みである

目標

会議室 : 52%以上 (評価A)

シアター : 40%以上 (評価A)

稼働率

〈上段：稼働率 下段：件数〉

| 施設 | | 部屋数 | R6 | R7 (4月～11月末) |
|-------------------|------|------|-----------------|-----------------|
| 会議室 | 全部屋 | 37部屋 | 45.4% 17,111 | 47.4% 12,142 |
| | 本館 | 30部屋 | 44.2% 13,335 | 46.0% 9,425 |
| | 南館 | 6部屋 | 50.0% 3,228 | 51.3% 2,255 |
| | 南ホール | 1部屋 | 50.9% 548 | 63.1% 462 |
| エル・シアター (大ホール) | | 1部屋 | 40.1% 417 | 40.2% 35 |
| プチエル (多目的ホール) | | 1部屋 | 41.3% 445 | 42.2% 309 |

※1 R7.5月～R8.1月のエル・シアター閉鎖期間除く

令和7年度センター利用料金収入増加の要因（施設別・時間帯別稼働率）

- ▶ 施設別・時間帯別稼働率をみると、単価の高い大規模会議室の稼働率が昨年度よりも5%ほど増加し、利用料金収入の増加につながっている。
- ▶ 夜間の稼働率は全施設において20%～30%台と平均よりも低く、依然として課題である。

時間帯別稼働率（令和7年度11月末時点）

（ ）は令和6年度

| 施設 | 定員 (部屋数) | 午前 (9:00～12:00) | | 午後 (13:00～17:00) | | 夜間 (18:00～21:00) | | 合計 | |
|---------------------|-----------------|--------------------|------------------|---------------------|------------------|---------------------|------------------|--------------------|------------------|
| | | 件数 | 稼働率 | 件数 | 稼働率 | 件数 | 稼働率 | 件数 | 稼働率 |
| 大規模会議室 | 60-216 (9部屋) | 1,541 (1,969) | 63.2% (54.8%) | 1,895 (2,543) | 77.7% (70.8%) | 683 (928) | 28.0% (25.8%) | 4,119 (5,440) | 56.3% (50.5%) |
| 中会議室 | 27-57 (14部屋) | 1,366 (1,925) | 46.7% (44.7%) | 1,830 (2,654) | 62.5% (61.6%) | 669 (956) | 22.5% (22.2%) | 3,865 (5,535) | 44.0% (42.8%) |
| 小会議室 | 18-21 (10部屋) | 1,071 (1,561) | 43.9% (43.5%) | 1,513 (2,213) | 62.0% (61.6%) | 460 (796) | 18.9% (22.2%) | 3,044 (4,570) | 41.6% (42.4%) |
| 控室 | 4 (4部屋) | 426 (594) | 43.6% (41.4%) | 504 (730) | 51.6% (50.8%) | 184 (242) | 18.9% (16.9%) | 1,114 (1,566) | 38.0% (36.4%) |
| 会議室合計 | — (37部屋) | 4,404 (6,049) | 51.6% (48.1%) | 5,742 (8,140) | 67.2% (64.8%) | 1,996 (2,922) | 23.4% (23.3%) | 12,142 (17,111) | 47.4% (45.4%) |
| エル・シアター※1 (大ホール) | 801 (1部屋) | 14 (136) | 48.3% (39.2%) | 14 (162) | 48.3% (46.7%) | 7 (119) | 24.1% (34.3%) | 35 (417) | 40.2% (40.1%) |
| フチ・エル | 80 (1部屋) | 91 (132) | 37.3% (36.8%) | 129 (192) | 52.9% (53.5%) | 89 (121) | 36.5% (33.7%) | 309 (445) | 42.2% (41.3%) |

※午前・午後・夜間の利用をそれぞれカウント（例えば、全日を通して利用した場合は、それぞれ1件とカウント）

※1 R7.5月～R8.1月のエル・シアター閉鎖期間除く

- 1 プッシュ型営業の推進**
- 2 目的外利用の負担軽減**
- 3 新・予約システムの導入**
- 4 情報発信の強化**

令和7年度重点取組①

1 プッシュ型営業の推進

労働組合、業界団体、学会・教育機関等に対して、それぞれに対応した営業活動を展開

⇒ 10月末時点の令和7年度内目標達成率は55.9%であり、引き続き営業活動を行い通年での目標をめざす。
なお、令和8年度では既に7,848千円が見込めている。

| | 対象 | 目標金額 | 営業 件数 | 売上 件数 | 売上額 | 達成率 |
|--------------|--|----------|------------------------------------|----------|-------------------------------|-------|
| 労働組合 | 過去利用実績がある労働組合の中で、ここ2年間利用のない組合 | 1,000千円 | 143件 〔直接営業: 23件〕 〔郵送等 :120件〕 | 19件 | 約304千円 〔令和8年度: 約22千円〕 | 30.4% |
| 業界団体 | 講習会や研修等、連続して会議室の使用が見込まれる府内各業界団体 | 2,400千円 | 293件 〔直接営業: 23件〕 〔郵送等 :270件〕 | 49件 | 約1,275千円 〔令和8年度: 約1,046千円〕 | 53.1% |
| 学会・ 教育機関等 | 自主事業等で関係のある学会や近隣の教育機関 | 5,000千円 | 30件 〔直接営業: 10件〕 〔郵送等 : 20件〕 | 18件 | 約3,008千円 〔令和8年度: 約977千円〕 | 60.2% |
| その他 | シアター: 大型催事の開催実績がある企業や業界団体 プチエル: 利用登録のない近隣音楽教室 | 2,000千円 | 180件 〔直接営業: 30件〕 〔郵送等 :150件〕 | 25件 | 約1,232千円 〔令和8年度: 約5,803千円〕 | 61.6% |
| 合計 | — | 10,400千円 | 646件 〔直接営業: 86件〕 〔郵送等 :560件〕 | 111件 | 約5,819千円 〔令和8年度: 約7,848千円〕 | 55.9% |

〈利用料金収入見込みにおける営業売上額の割合〉
令和7年度 2.4% 令和8年度 6.0%

※令和7年10月末時点

2 目的外利用の負担軽減

- ▶ 新規利用者の獲得と定着を図るため、**目的外利用の負担軽減となる利用料金の新たな優遇措置を実施**

【取組内容・実績】

- ▶ 営業活動での営業ツールとして活用
- ▶ 利用実績なし

【原因・今後】

- ▶ 利用料金の一部減額が他施設からエル・おおさかに乗り換えるインセンティブにならないと思慮
- ▶ 今後、本制度の継続および目的外利用の負担軽減を図る代替措置については、現在検討中

エル・おおさか
 ご新規一般利用者様限定サービス
 会館室 エル・シアター プチ・エルを対象に
10%OFF～を実施します。
(共同事業体エル・プロジェクトが負担します。)

例えばー
 大会室 午前・午後(9時～17時・冷暖房期間)をご利用された場合
 42,000円(税込) → **37,800円(税込)**
10% 4,200円お得!

さらに! 1回の利用料金が100,000円を超えるとー
 雨ホール 全日(9時～21時・冷暖房期間)をご利用された場合
 139,200円(税込) → **118,320円(税込)**
15% 20,880円お得!

【対象期間】 令和7年4月1日～令和8年3月31日のご利用分
 【対象者】 一般利用者および過去4年間利用のない団体
(※目的利用の方は対象外)
※「利用申請」をご希望の場合は事前に利用目的の届出が必要です。利用目的は「営業」です。
 ※本サービスは定額のみ対象となります(資料費は対象外)
 ※他のサービスとの併用はできません。

【サービス適用の条件】
 ・本サービスを利用する場合は、利用申込の際に本サービスの適用を申込書欄から申告することが条件となります。
 なお、利用目的が「営業」でない場合、また申込後お申し込み後の本サービスの中心についてはサービスの適用外となります。ご了承ください。
 ・その他の条件については下記へお問い合わせください。

エル・おおさか(大阪府立労働センター)は、会館室、エル・シアター、プチ・エルを気軽にご利用いただける会館です。
 ◆お申込み・お問合せ◆ エル・おおさか 受付
【受付時間】 平日 9:00～17:00
 TEL: 06-6942-0001 FAX: 06-6942-1933
 Eメール: ork@l-osaka.or.jp

エル・おおさか
 新規ご利用者様紹介キャンペーン

◆対象期間◆ 令和7年4月1日～令和8年3月31日のご利用分
 ◆対象者◆ 会館室及びエル・シアターのご利用でご予約日が令和7年4月以降の一般のご利用団体様(※目的利用の方は対象外)

既にご利用いただいているご利用者様から「新規のご利用者様」をご紹介いただき、実際にご利用いただくこと…

新規ご利用者様 利用総額の15% OFF (※)

※初回利用から一定期間内(恩恵は2カ月以内)の利用料金が対象。かつ利用総額が100,000円を超える場合のみ本キャンペーンの対象となります。
 ※利用総額の対象は定額のみ(有料施設は対象外となります。)
 ※他のサービスとの併用はできません。

ご紹介者様 ご紹介いただいた新規利用者様の利用総額の5% OFF (※)

※ご紹介いただいた新規利用者様が実際にエル・おおさかをご利用いただいた場合かつ一定の利用条件を全て満たした場合のみ本キャンペーンの対象となります。

◆キャンペーン適用例◆
 ●新規利用者様◆
 ◎利用日: 4月1日(対象期間: 4月1日～4月30日まで)ご利用料金が100,000円。
 ◎利用総額: 100,000円 × 0.15 = **15,000円**を共同事業体エル・プロジェクトが負担します。
 ●ご紹介者様◆
 ◎新規利用者様の対象期間後、利用総額が確定して以降(適用開始ご利用総額: 100,000円)
 ◎ 100,000円 × 0.05 = **5,000円**を共同事業体エル・プロジェクトが負担します。

◆お申込み・お問合せ◆ エル・おおさか 受付【受付時間】 平日 9:00～17:00
 TEL: 06-6942-0001 FAX: 06-6942-1933 Eメール: ork@l-osaka.or.jp
 エル・おおさか(大阪府立労働センター)は、会館室、エル・シアター、プチ・エルを気軽にご利用いただける会館です。

3 新・予約システムの導入 - 令和8年度稼働をめざす -

利用者の利便性向上と管理業務の効率化を図るため、ネット上での手続きの完結等、システムのバージョンアップを検討中

システムの特徴

| 利用者側 | 管理側（管理業務の効率化） |
|--|---|
| <p>1. ユニバーサルデザイン 音声読み上げや読みやすいウェブデザインなど、すべての人にやさしいデザイン設計</p> <p>2. キャッシュレス決済連携 クレジットカードやQRコード等、各種決済手段に対応可能</p> <p>3. お気に入り登録 よく使う部屋をお気に入り登録し、予約が簡単に</p> <p>4. 将来のスマートロック連携 ナンバー式の電子錠の導入により、スムーズな利用が可能（今後の導入を検討）</p> | <p>1. 業務効率化 電話による申込の減少など、受付業務量の減少</p> <p>2. 抽選機能の導入 抽選の完全自動化による職員の業務量の減少</p> <p>3. 自動処理機能 利用料金の自動算定、独占利用制限等の処理の自動実施</p> <p>4. 操作ログの確認 操作ログの照会が可能になり、利用者とのトラブル回避等に寄与</p> |

※入金遅延の確認や予約金の計上方法等に合わせるため、オリジナルの機能を随時追加して業務効率化を図る。

※予約承認の手順については、今後運用をあわせて検討

スケジュール

| | | | | |
|--------------|------------|------------|-------------|------|
| 11月 | 3月 | 6月 | 8月 | 10月 |
| 要件定義・パラメータ確認 | システム開発・テスト | 総合テスト・操作研修 | 運用テスト・データ移行 | 運用開始 |

4 情報発信の強化

| | 取組実績 | 今後の取組 |
|-------|--|---|
| SNS関係 | <ul style="list-style-type: none">・LINE公式アカウントを作成し、11月よりカレンダーの配布と合わせ配信開始・受付にてQRコード記載のフライヤーを設置 | <ul style="list-style-type: none">・他のチラシやHP等へのLINEIDの掲載・友達追加にて、夜間や直前の割引等クーポンの実施。 <p>※今後、他SNSの開設も検討</p> |
| その他 | <ul style="list-style-type: none">・会議室ドットコム等の新たなサービスを利用した案内・周知の強化（10月～）・大阪メトロ御堂筋線の2車両につき革広告を掲載（令和7年10月～令和8年9月）・エルちゃん通信の館内掲示など館内での広報物の掲示を強化し、来館者の関心を一層高めた | <ul style="list-style-type: none">・民間企業と連携した集客性の高い広報イベントの開催（イベント参加企業へのチラシ配布等） |

その他（自主事業）

令和7年度当初設定

- ▶ 利用料金収入における黒字を主たる原資としていることから、限られた財源を効果的に活用するため、**令和7年度は「選択と集中」により一部の事業を中断**
- ▶ 中断に伴い生じるマンパワーを、営業活動や令和8年度以降の新事業展開の検討に活用

令和8年度方向性

- ▶ 中断事業は、収益性が高い事業へと再構築し、今年度の収支状況等を踏まえて、実施等を検討（1月まで）

参考

<継続事業>

- ・大阪労働大学講座（令和7年6月～令和8年1月・全33回）
- ・労働保険・社会保険実務講座（入門講座）（2回/年）
- ・労働法特別講座（1回/年）
- ・なにわ美術展（1回/年・他団体と共催）
- ・特別講演会（1回/年）

<中断事業>

- ・プチエルでのアフタヌーンコンサート（1回/年）
- ・労働保険・社会保険実務講座（応用講座）（2回/年）
- ・年末調整実務講座（1回/年）
- ・資産形成セミナー（1回/年）
- ・プチエル試弾会（2回/年）
- ・歴史セミナー（全6回×2セット/年）

新たな取組

- ▶ 民間企業と連携した集客性の高い広報イベントの開催（検討中）
（例）エル・シアターにおけるメディアとの共同イベント